

# 自主的・協働的に学ぶ

## 第4回授業研究会

9月12日（火）今年度4回目の授業研究会を行いました。

お招きした講師の先生は、

国立教育政策研究所 研究開発部

学力調査官 教育課程調査官 川上 真哉 先生

横浜国立大学 教育学部 講師 山崎 信也 先生

横浜市立三保小学校 校長 鈴木 康史 先生

横浜市立子安小学校 校長 山本 加奈代 先生 です。

今年度も、「自ら問い、自己選択・自己決定しながら学び続ける子どもの育成 ～一人ひとりが『自覚的な学び』を繰り返す学びのデザイン～」をテーマに授業研究会を行い、授業力を向上させていきます。

## 1年2組

単元名 「たのしくとぼう！ジャンプスター☆ランド」

教材名 「跳の運動遊び」

これまでの学習で、「ケンパー跳び遊び」、「ゴム跳び遊び」、「川跳び遊び」の基本的な跳び方を学習してきました。本時では、「川跳び遊び」の場を工夫して、もっと楽しく跳ぶにはどうすればよいかを考えました。ケNSTEPを使って、川の中に島を作ったり、段ボールを置いて跳び越えたりするなど、自分の考えた工夫で遊んで楽しみました。



## 4年1組

単元名 「目指せ、一人ひとりが跳び箱チャンピオン！ 「できた！」であふれる4-1できコレ」  
教材名 「マット運動（器械運動）」

踏み切り、着手、空中姿勢、着地に着目し、「できた！」を集めながら跳び箱運動に取り組みました。自分の動きを撮影した動画と、お手本の動画やポイントシートと比較をしながら、自分の課題を客観的に発見しました。また、その課題を解決するために練習場所や方法を選んだり、友達と助言し合ったりして粘り強く挑戦する姿が見られました。



## 4年2組

単元名 読書会をして、新美南吉が書いた作品のよさや魅力を深ぼりしよう！  
教材名 「ごんぎつね」

新美南吉の「ごんぎつね」を読み、疑問に思ったことや友達と話し合いたいことなどからグループごとにテーマを決め、話し合いました。「ここに〇〇って書いてあるからこう思ったよ。」「自分は違う考えで…。」と、本文をもとに一人ひとりが自分の考えを伝え合い、「友達と自分は考え方が違って面白かった。」と、互いの考えの違いを楽しみながら、味わって読んでいました。



## 5年2組

単元名 「登場人物になりきって物語を読もう」  
教材名 「たずねびと」

「たずねびと」は主人公の綾が駅で原爆供養塔納骨者名簿を見かけ、実際に広島を訪れる物語です。授業では、子どもたちが主人公の綾になりきってインタビューを受けたり、インタビューをしたりして、物語を味わいました。「お昼ご飯は何を食べましたか？」という、話の内容とはそれほど関わらないような質問にも、「胸がいっぱいで覚えていません」と、物語に深く浸っているからこそ出てくる答えが返ってきました。役になって答える言葉には、子どもたちならではの物語の景色が広がっていました。



## 6年3組

単元名 科学で明かす植物の体～命を繋ぐ植物の不思議～

教材名 「植物のつくりとはたらき」

根から吸い上げて葉まで運ぶ水の通り道はあるのかを確かめるために、着色液を使用して実験を行いました。授業の中では、自分の予想と比較して茎の断面を観察している姿や、茎を細かく分断し着色した水の通り道の色の濃さが違うことを発見している姿が見られました。振り返りでは、人間の体と植物を比較して共通点を見つけている記述も見られ、植物についての見方が広がっていました。

